

STEP 3 ②奨学金申込情報に給付・貸与の申し込み希望を記入してください。

STEP3 ②奨学金申込情報

1. 高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を希望しますか。

○希望します ○希望しません

※家計急変採用に申し込む人は、「希望しません」に変更できません。

※多子世帯の授業料等減免を受けたい場合も「希望します」を選択してください。

2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか（現在、貸与奨学金を受けている場合、(c)の(8)～(14)を選択する方以外は「希望しません」を選択してください）。

○希望します ○希望しません

あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

※今まで貸与奨学金を受けたことがある人は、(c)のいずれかを選択してください。

・通信教育課程の場合は、本ページ下部で選択します。

・高等専門学校の1、2、3年生は、第二種奨学金の申込みはできません。

(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ入力してください。

○(1) 第一種奨学金のみ希望します。

○(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。

○(3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b) 併用貸与を希望する人のみ入力してください。

○(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。

○(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。

○(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。

○(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ入力してください。

○(8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。

○(9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。

○(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

○(11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

○(13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。

○(14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

上記、(c)の(8)(9)(10)(11)(13)(14)を選択した人は該当するあなたの奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

緊急採用・応急採用に申し込む人は(1)(3)(4)(10)(11)の中から希望する1つを選択してください。

※(12)は欠番です。

(重要) 給付奨学金又は高等教育の修学支援新制度による授業料減免を受けている人が併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、給付奨学金の支援区分等に応じて第一種奨学金の貸与月額が調整されます。この場合、貸与奨学金の申込時に選択した貸与月額及び貸与中の月額から減額又は増額（併給調整といいます）されることがあるので注意してください。

あとで変更することはできません。「貸与奨学金案内」をよく確認してください。

(8)(9)(10)(11)(13)(14)を選択する人は必ず以下の「奨学金申込区分の注意事項①」を確認してください。

(5)(6)(7)を選択する人は必ず以下の「奨学金申込区分の注意事項②」を確認してください。

奨学金申込区分の注意事項① 在学採用で申込区分(8)(9)(10)(11)(13)(14)を希望する

・既に一種・二種どちらか一方を貸与中の人

・予約採用者で進学届を提出したが、奨学生番号が決定していない人

・短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続するが、奨学生番号が決定していない人

奨学生番号が決定している場合

(8)(9)(10)(11)(13)又は(14)を選択し、貸与中の奨学金の奨学生番号を入力してください。

奨学生番号が決定していない場合

① (8)(9)(13)又は(14)に該当する：
(1)「第一種奨学金のみ希望します」又は(3)「第二種奨学金のみ希望します」を選択し、別途(8)(9)(13)又は(14)を希望していることを学校担当者に申し出てください。

② (10)又は(11)に該当する：
(10)又は(11)を選択し、貸与中の奨学生番号入力欄は空欄のままにしてください。

※(8)(9)(10)(11)(13)(14)を選択する人は、採用後に、現在貸与中の奨学金の一部を返戻する必要がある場合があります。

※(8)(9)(10)(11)(13)(14)を選択する人は、不採用となった場合でも貸与中の奨学金が打ち切られることはありません。

奨学金申込区分の注意事項② 在学採用で申込区分(5)(6)(7)を希望する

※(5)(6)(7)を選択する人は、併用貸与が不採用になった場合を想定して、第2希望・第3希望の貸与奨学金の月額を選択してください。なお、採用後、貸与月額を減額することができます。

※本用紙は出願後返却します。
この用紙のとおりスカラネットへ入力してください。

※スカラネットへ入力された情報を正とします。
入力に誤りがあった場合でも、スカラネットに入力した内容が最終の申込内容となります。正確に入力してください。